

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○防災対策 火災及び地震の災害時に、昼夜問わず避難時のマンパワー等の確保が完全ではない。また、法的な訓練はクリアーしているが、常日頃の訓練が必要である。	火災及び地震等の災害を想定して、2ヶ月に1回は実際の訓練又は机上の訓練を実施したい。また、訓練時に地域の方々に協力をお願いし、参加を働きかけたい。	訓練及び地震の災害訓練は、毎月2回は最低全職員が出席する勉強会があるため、そこで、2ヶ月に1回訓練及び机上訓練を実施したい。また、地域の方々については、公民館長等をお願いし、協力を得たい。	12ヶ月
2	10	○運営に対する利用者、家族等意見の反映 利用者、家族等からの意見を事業所として取り入れる努力が足りていない。	利用者、家族に対して、運営に関する幅広いテーマで、アンケートを実施する。	アンケートを集約し、全職員で会議にて検討を重ね実施し、その結果を家族等へ報告する。	12ヶ月
3	49	○日常的な外出支援 一人一人の希望にそって、戸外に出かけられるような体制が完全に確立されていない。	日常的に利用者が戸外に外出できるよう事業所は勿論のこと、家族等にも協力をお願いし、実施したい。	月間のスケジュールを決め、事前に利用者の希望を聞き、戸外への外出支援を積極的に実施していく。	2ヶ月
4	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画・モニタリング等で家族の出席が少ない。	本人・家族・職員・関係者の意見を取り入れた介護計画を作成する。	家族優先で開催日を決め、役職者・担当者が参加し、入所者の生活の質の向上のため、活発な意見が出るような雰囲気をつくる。	6ヶ月
5	27	○個別の記録と実践への反映 日々の暮らしやケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録にしているが、まだまだ充実していない。	日々の個別の記録を職員が真剣に取り組む。	勉強会等で、実践・結果、気づきや工夫の個別記録を検証し、実践や介護計画の見直しに活かしたい。	12ヵ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。